



Yomeishu



第94期 株主通信

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



養命酒製造株式会社

証券コード：2540

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

中期経営計画
(平成24年4月～平成27年3月)

基本方針

持続的成長に向けた
事業構造の革新



代表取締役社長

塩澤 太朗

平成24年6月

平素は格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。ここに、養命酒製造株式会社の第94期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業の概況をご報告いたします。

第94期の業績について

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け、原子力発電所の事故による電力不足問題等が続く中、一部に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務問題や円高等、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や流通における再編が継続し、生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に答え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、当期につきましては、「養命酒」をはじめ、前中期経営計画において基盤を構築した「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の商品及び事業に経営資源を集中し、収益基盤の維持、確保に重点的に取り組みました。また、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」や「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を主要戦略とする中期経営計画（平成24年4月から平成27年3月まで）を策定いたしました。

以上の結果、「養命酒」等の売上は堅調に推移し、売上高は115億8千9百万円（前期比0.4%減）となりました。利益面では、広告宣伝費をはじめとする諸経費の節減により、営業利益は13億6千3百万円（前期比66.1%増）、経常利益は15億8千5百万円（前期比51.1%増）となりました。また、当期純利益は減損処理による投資有価証券評価損を計上し8億7千1百万円（前期比23.5%増）となりました。

また、売上高115億8千9百万円の内訳は、養命酒関連事業111億2千9百万円、施設運営事業3億4千5百万円、その他1億1千4百万円となっております。

東日本大震災等厳しい経営環境

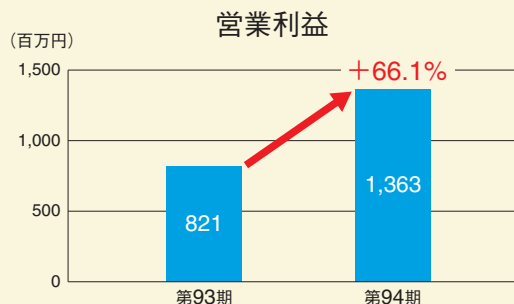


経営資源を集中



収益基盤の維持・確保

- 「養命酒」の売上は堅調に推移
- 売上高は前期比0.4%減
- 広告宣伝費等の諸経費節減により営業利益は前期比66.1%増



セグメントの状況

●養命酒関連事業●

養命酒関連事業につきましては、堅調に推移した「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」、「ドリンク剤」等の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は111億2千9百万円（前期比0.6%減）となりました。

- ・エリア別担当制による効率的営業活動
- ・「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動

主力商品「養命酒」

- ・各種媒体の役割・訴求対象を明確にした効率的な広告の実施
- ・広告と連動した店頭における販売促進活動の展開
- ・「ハーブプラスHerb+」（平成23年9月発売）と「養命酒」とを合わせた店頭販売促進活動

海外

- ・各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開や効率的販売促進活動
- ・「養命酒」の理解と知名度の向上に努める
- ・商戦期における各種キャンペーンの実施や店頭販売促進活動の強化

「ハーブの恵み」

- ・取扱店舗数の拡大に向けた店頭活動や試飲会、棚割提案による配荷促進
- ・各種イベントへの出展やキャンペーンの実施
- ・特定エリアに集中したプロモーションを実施

「ハーブの恵み スパークリング」

- ・「ハーブの恵み」を中心とした独自のハーブ酒市場の確立とブランド強化を目指し、平成24年3月に「ハーブの恵み スパークリング」を全国販売
- ・小売店等のパイヤーを対象とした見本市に出展
- ・プレゼントキャンペーンや一部地域におけるプロモーション活動を先行して実施

●施設運営事業●

「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしまして、施設運営事業の売上高は3億4千5百万円（前期比11.8%増）となりました。

「くらすわ」

- ・各種イベントを開催し集客
- ・お客様のニーズや季節に応じた商品・料理メニューの充実
- ・ロケーションを活かした観光客の取込みに注力
- ・地域振興を目指し、地元のお客様の取込みに注力
- ・オリジナル商品の販売チャネルの拡充

「養命酒健康の森」

- ・年間工場見学者数10万人達成

●その他●

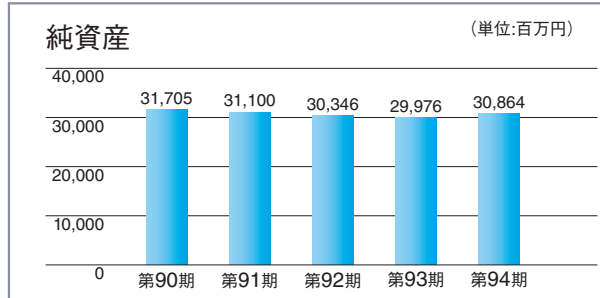
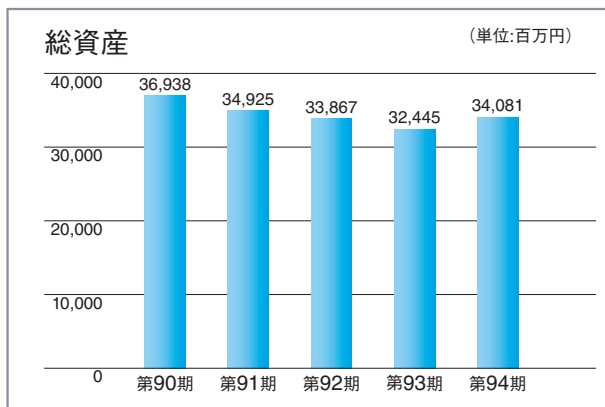
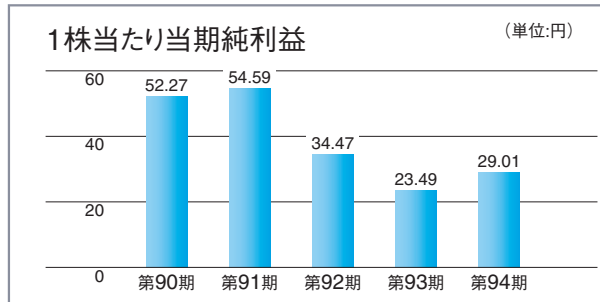
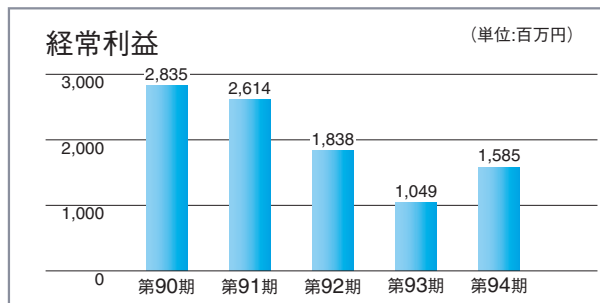
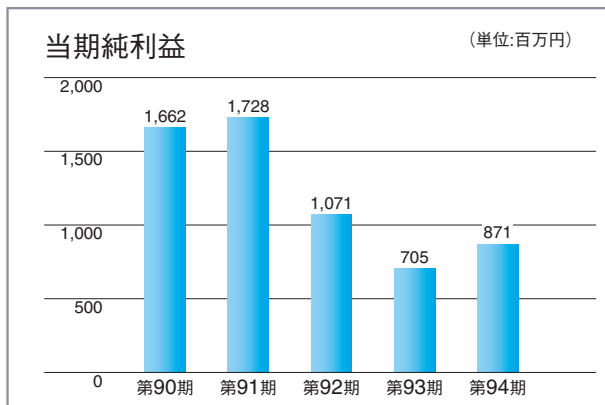
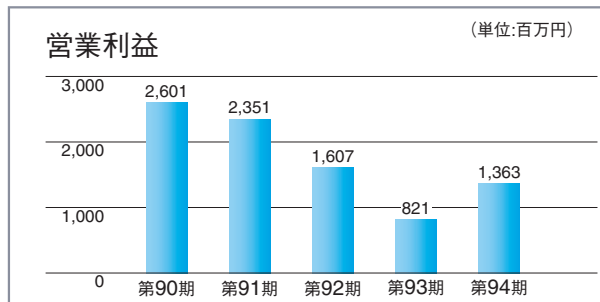
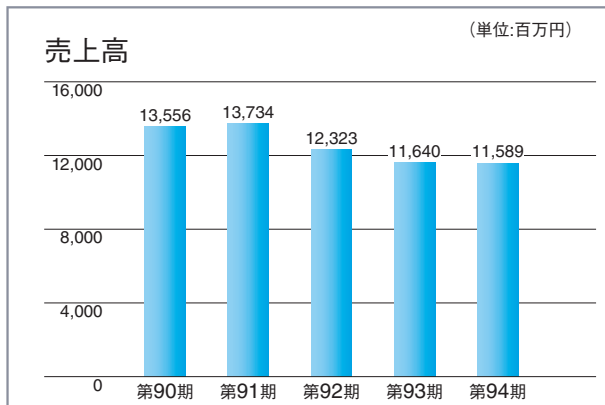
不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、1億1千4百万円（前期比17.7%減）となりました。

株主の皆様へメッセージ

当社は、平成24年4月から新たな中期経営計画がスタートしており、「持続的成長に向けた事業構造の変革」の基本方針の下、その主要戦略である「新規事業領域の拡大と成長性の確保」と「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に取り組んでまいります。

今後もお客様の満足と信頼を一番に考え、健康生活に貢献できるよう、「養命酒」をコアとした、高い安心と社会に求められる有用な商品やサービスの提供に努め、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の更なる強化を図るとともに企業の社会的責任を果たし、株主の皆様のご期待にお応えする所存であります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜われますようお願い申し上げます。



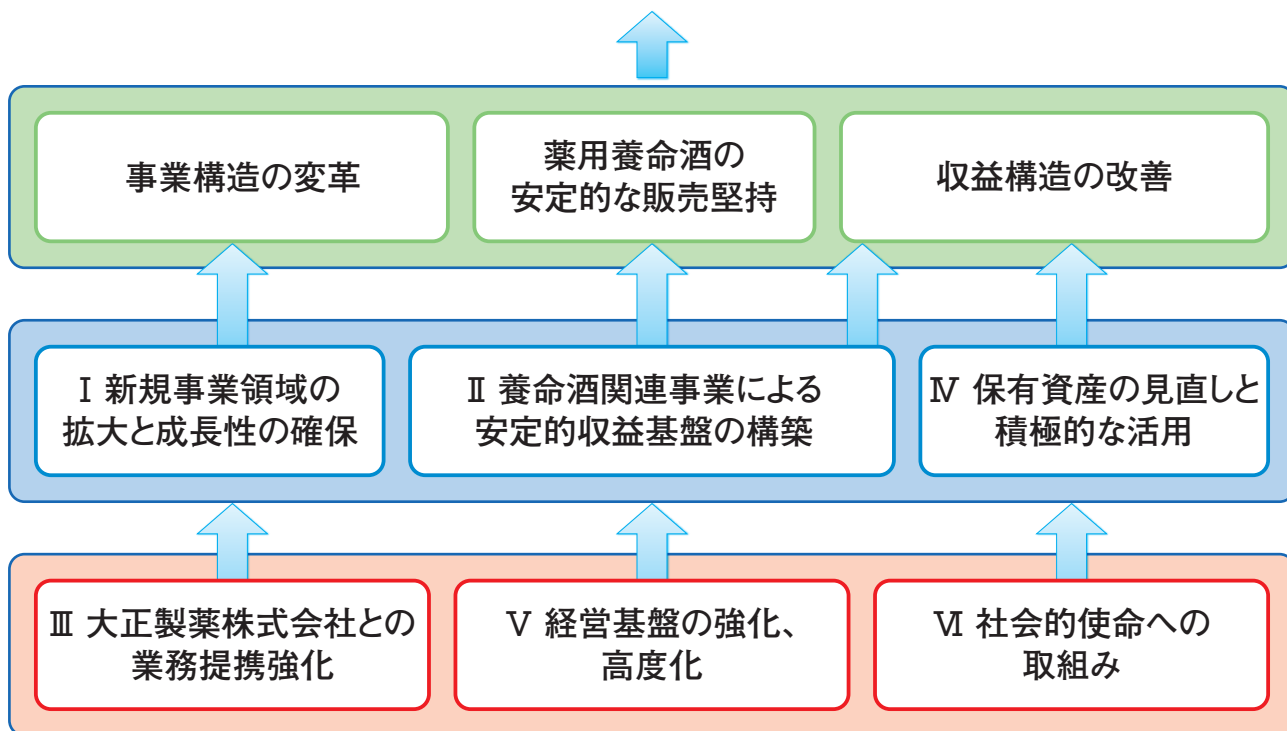
当社は、平成24年4月から平成27年3月までの3か年の中期経営計画を策定し、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」「大正製薬株式会社との業務提携強化」「保有資産の見直しと積極的な活用」「経営基盤の強化、高度化」「社会的使命への取組み」の6つの戦略に基づき各施策を推進し、「事業構造の変革」「薬用養命酒の安定的な販売堅持」「収益構造の改善」を遂行し、中期経営計画の最終年度である平成27年3月期には、売上高130億円以上、営業利益率10%の維持、「養命酒」以外の売上高比率15%以上の実現を目指してまいります。

中期経営計画の戦略と計画

持続的成長と収益性の向上

(平成27年3月期目標)

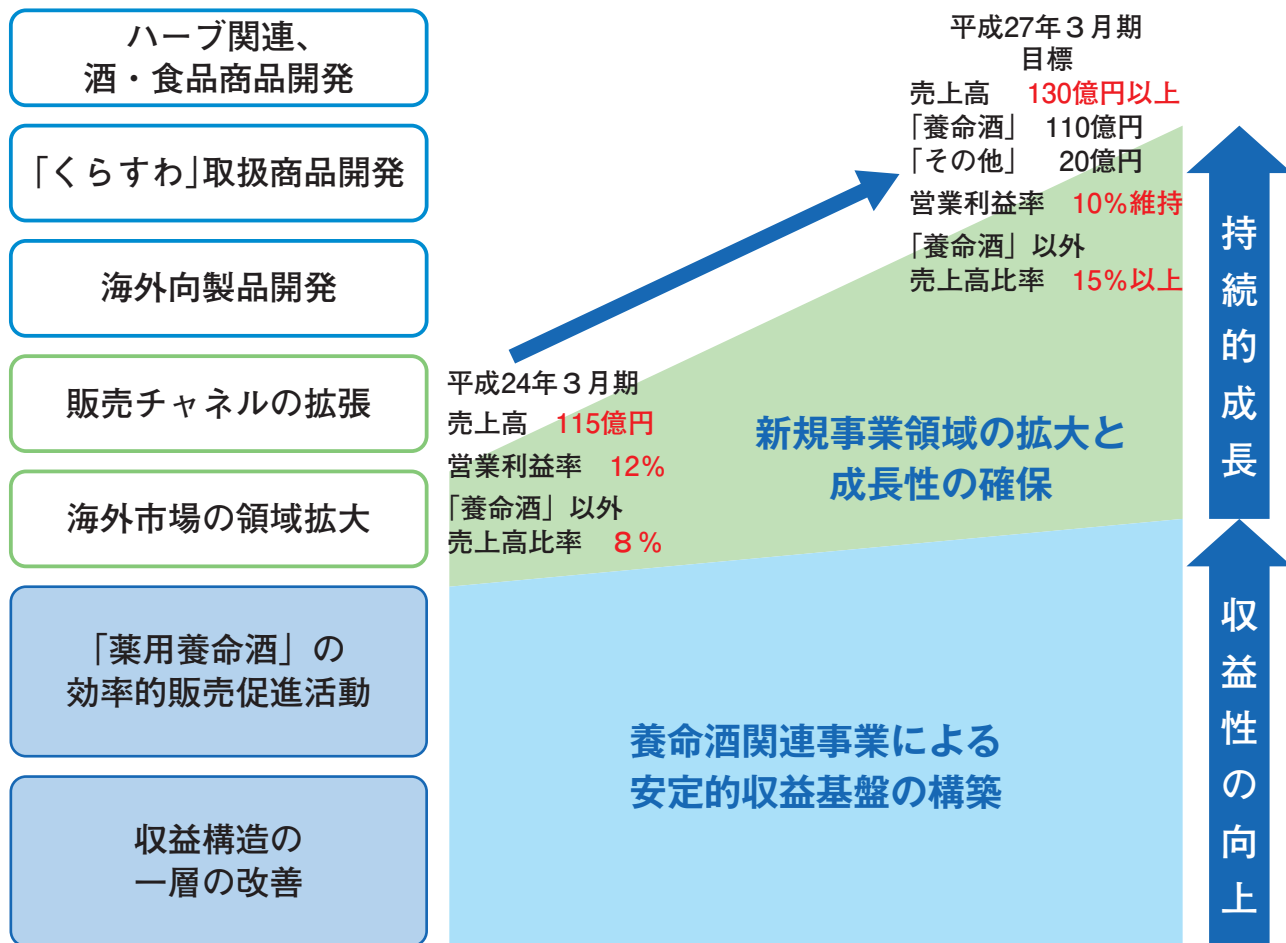
- 売上高 130億円以上
- 営業利益率 10%維持
- 「養命酒」以外の売上高比率 15%以上



中期経営計画の具体的な施策としては、「ハーブ関連、酒・食品商品開発」、「くらすわ」取扱商品開発、「海外向製品開発」の各商品開発の強化と、「販売チャネルの拡張」、「海外市場の領域拡大」により、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」を実現し、持続的成長を目指してまいります。

また、「薬用養命酒の効率的販売促進活動」、「収益構造の一層の改善」により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を実現し、収益性の向上を目指してまいります。これらの取組みにより、中期経営計画の最終年度である平成27年3月期において、「養命酒」110億円、「その他」20億円の売上達成を目指します。

持続的成長と収益性の向上



貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度 (平成23年3月31日)	当事業年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産	7,685	8,772
固定資産	24,760	25,309
有形固定資産	7,333	6,841
無形固定資産	68	41
投資その他の資産	17,358	18,425
資産合計	32,445	34,081
負債の部		
流動負債	1,446	2,241
固定負債	1,022	975
負債合計	2,469	3,217
純資産の部		
株主資本	30,057	30,386
資本金	1,650	1,650
資本剰余金	676	676
利益剰余金	30,612	30,943
自己株式	△2,881	△2,883
評価・換算差額等	△81	478
その他有価証券評価差額金	△81	478
純資産合計	29,976	30,864
負債純資産合計	32,445	34,081

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

貸借対照表

【総資産】 前期末に比べ1,635百万円増加し、34,081百万円となりました。これは主に減価償却により有形固定資産が491百万円減少した一方で、売掛金が260百万円、余剰資金の運用により有価証券が694百万円、債券の取得や保有株式の時価評価の増加等により投資有価証券が933百万円、関係会社株式が203百万円それぞれ増加したことによるものです。

【負債】 前期末に比べ747百万円増加し、3,217百万円となりました。これは主に取引先への取引保証金の返還により長期預り金が178百万円減少した一方で、未払費用が329百万円、課税所得の増加に伴い未払法人税等が413百万円、保有株式の時価評価の増加により繰延税金負債が139百万円それぞれ増加したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べ887百万円増加し、30,864百万円となりました。これは主に当期純利益871百万円の計上による増加、配当金540百万円の支払いによる減少、その他有価証券評価差額金559百万円の増加によるものです。

損益計算書

【売上高】 「養命酒」等の売上が堅調に推移し、売上高は11,589百万円（前期比0.4%減）となりました。

【利益】 広告宣伝費をはじめとする諸経費の節減により、営業利益は1,363百万円（前期比66.1%増）、経常利益は1,585百万円（前期比51.1%増）となりました。また、当期純利益は減損処理による投資有価証券評価損を計上し871百万円（前期比23.5%増）となりました。

キャッシュ・フロー計算書

【営業活動によるキャッシュ・フロー】 営業活動の結果増加した資金は、1,950百万円（前期比50.3%増）となりました。これは主に税引前当期純利益1,359百万円、減価償却費652百万円、未払費用の増加額332百万円、法人税等の支払額207百万円によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】 投資活動の結果減少した資金は、671百万円（前期比39.1%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出107百万円、有価証券の償還による収入1,000百万円、投資有価証券の取得による支出1,502百万円によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】 財務活動の結果減少した資金は、541百万円（前期比0.2%増）となりました。これは主に配当金の支払額539百万円によるものです。

損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	11,640	11,589
売上原価	3,933	3,894
売上総利益	7,706	7,694
販売費及び一般管理費	6,885	6,331
営業利益	821	1,363
営業外収益	245	240
営業外費用	17	19
経常利益	1,049	1,585
特別利益	96	—
特別損失	27	225
税引前当期純利益	1,117	1,359
法人税、住民税及び事業税	366	618
法人税等調整額	45	△130
当期純利益	705	871

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度	当事業年度
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,297	1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,102	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△540	△541
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△345	737
現金及び現金同等物の期首残高	3,174	2,829
現金及び現金同等物の期末残高	2,829	3,566

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

（平成24年3月31日現在）

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL http://www.yomeishu.co.jp/
事業所	大阪支店、福岡支店、 駒ヶ根工場、中央研究所、 施設運営事業部（くらすわ）
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	267名

（平成24年6月28日現在）

役員	代表取締役会長	川村 昌平
	代表取締役社長	塩澤 太朗
	常務取締役執行役員	竹村 彰司
	常務取締役執行役員	田中 英雄
	取締役執行役員	吉松 敬雄
	取締役執行役員	大森 勉
	取締役執行役員	宮下 久宜
	取締役執行役員	神林 敬
	常勤監査役	矢部 與四男
	常勤監査役	中川 博之
監査役	笠原 孟	
監査役	井出 正一	

「ハーブの恵み スパークリング」

香り豊かな「ハーブの恵み」の魅力そのまま、 より爽やかに、手軽に楽しめる スパークリングが登場

「ハーブの恵み スパークリング」は、ナツメ、シナモン、クコの実など13種類のハーブをバランスよく配合したお酒「ハーブの恵み」をソーダで割った、爽やかなハーブの香りと味わいを楽しめる缶入りカクテルです。平成24年3月8日に全国発売を開始致しました。

また、「ハーブの恵み」ブランド化に向け、商品情報を分かりやすく伝えるニューキャラクター「カオリス」も登場いたしました。



「ハーブの恵み スパークリング」の特長

- ①アルコール分**5%**
- ②やさしい飲み心地の**微炭酸**タイプ
- ③香料無添加によるハーブ由来の「**香り**」
- ④手軽に飲みきりやすい**250ml**サイズ

「ハーブの恵み」のおいしい飲み方、「カオリス」のプロフィール、新CMなどの情報を当社ホームページにて掲載しております。お気軽にご覧ください。 <http://www.yomeishu.co.jp/megumi/kaorisu>

「駒ヶ根工場見学 10万人達成」

駒ヶ根工場は、平成17年に「養命酒健康の森」を開設し、おもてなしの心を実践してまいりました。

今期は、10万人を超えるお客様に駒ヶ根工場をご見学いただくことができました。

今後も「養命酒健康の森」を通じて地域と環境に根差し、おもてなしの心を実践する場として、駒ヶ根工場の環境づくりに取り組み、より多くのお客様にご来場いただけるよう努めてまいります。

是非一度、工場見学にお越しください。



緑豊かな駒ヶ根工場の風景



お問い合わせTEL

0265-82-3310

■ 上位10名の株主（平成24年3月31日現在）

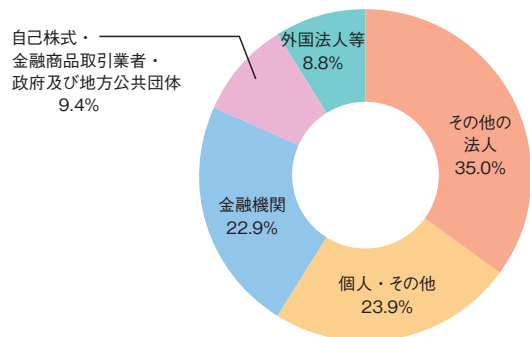
株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,549
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,487
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	465
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を2,956千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

■ 株式の状況（平成24年3月31日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,153名

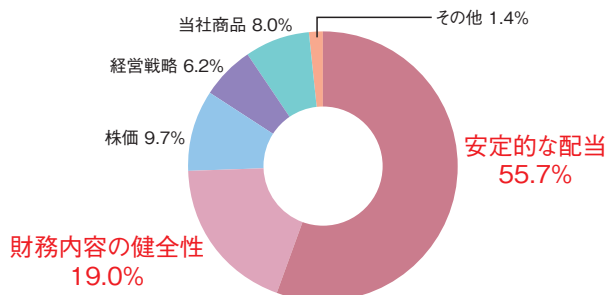
■ 所有者別株式分布状況（平成24年3月31日現在）



株主アンケート結果ご報告

昨年12月に株主の皆様のご意見を伺うアンケートを実施いたしました。多くの皆様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。ここではアンケート結果の一部をご報告いたします。株主の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後のIR活動の参考とさせていただきます。（ご回答286名様、ご回答率8.9%）

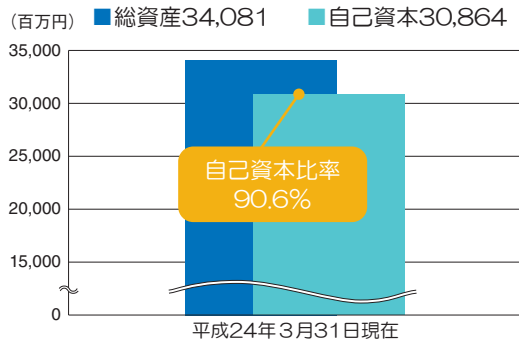
◆当社株式を長期的に保有していただくために重視することをお聞かせください。（1つだけ）



■ 自己資本比率について

財務体質は、平成24年3月31日現在で、自己資本比率90.6%と高い健全性を維持しております。

今後も成長に向けた投資とのバランスを取りつつ、健全な財務体質の維持に努めます。

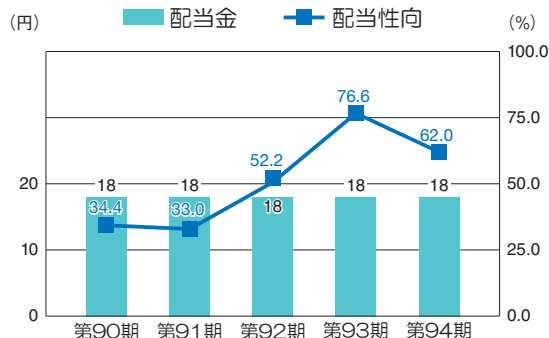


■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.yomeishu.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 利益配分について

当社は、企業価値を向上させ、株主各位への安定的な配当を継続することを重要課題としており、配当で利益還元を図った後に、内部留保を行い、企業体質の強化を図っていきたくて考えております。内部留保資金につきましては、広い視野に立って設備投資、研究開発等に使用することといたしております。



■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。 特別口座に当社株式が記録されている株主様 左記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。



養命酒製造株式会社

東京都渋谷区南平町16番25号

TEL : 03-3462-8111 (代表) FAX : 03-3462-8340